



平成24年 春 第31号

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

あかり

A K A R I

看護師さんを
募集しています

4月14日 新東名が開通します	1
重症心身障がい児(者)看護現任教育研修会に参加して	4
C2病棟 節分	5
「第47回 静岡リハビリテーション懇話会」より	5
—チーム医療について—	
第29回 てんかん専門職セミナー報告	6
アレビアチン注射液の欠点を改善した	6
ホストイン 静注750mg	
てんかん外来再診の診療体制 / 医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ	8
当院へのアクセス / イベント情報 / 本	8

4月14日 新東名が開通します

静岡てんかん・神経医療センターへ、お越しの際は利用されると便利です。



大阪方面からお越しの方は三ヶ日JCで新東名
高速路道路へ乗り換えて下さい。

東京方面からお越しの方は御殿場JC新東名
高速路道路へ乗り換えて下さい。



① 新静岡インターを降りられましたらそのまま直進
下さい。



② しばらく道なりのです。



③ トンネルを抜けると「流通通り」に繋がります。



④ 坂を下った一つ目の信号を左折です。



⑤ 先ほどの左折後、再度、左折します。一つ目の信号です。



⑥ 道なりに左に曲がって下さい。



⑦ 高架橋をくぐります。ここは右折できません。交差点は、一旦停止です。ご注意下さい。



⑧ 高架橋をくぐった先の看板のところを右折して下さい。



⑨ 病院手前の交差点に出ます。

お帰りの際は、来られた道に戻るようになります。



① 病院から流通通りの方向へ左折して下さい。



② 一つ目の交差点を左折して下さい。
田畑の中を通ります。



③ 道なりに右折です。



④ 一つ目の信号を右折です。

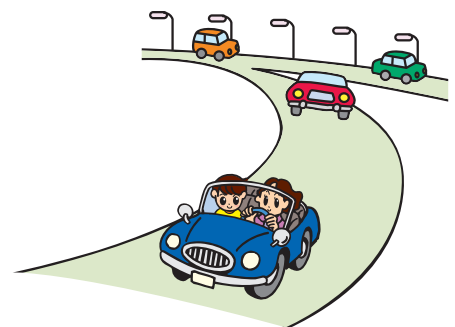


⑤ つきあたりの信号を右折です。



⑥ 新静岡インターへ続く道です。
「本線」側を進んで下さい。

病院周辺をぐるっと回って頂かないといけません。静岡市内を通らないため、高速道路を降りた後の病院までの所要時間は大幅に短縮されます。
交通事故には十分にご注意頂きご利用下さい。



重症心身障がい児(者) 看護現任教育研修会に参加して

重症心身障がい児(者)病棟看護師教育の一元化と看護の向上を目指し、国立病院機構東海北陸ブロックの重症心身障がい児(者)看護に関わるスタッフが集まり、現任教育の講義案を作成する研修が行われました。当院からは重症心身障がい児(者)病棟から各1名ずつ、計4名の副看護師長が参加しました。

研修会は、平成23年10月長良医療センター、平成23年12月石川病院、平成24年2月当院で、それぞれ2日間の日程で行われ、2月4日の公開報告会には東海北陸ブロックの多くの施設の方に参加いただきました。

研修では、5つのグループに分かれ、それぞれ与えられたテーマ・プログラムに沿って講義案を作成しました。



重症心身障がい児(者)病棟に配属された、1～5年目の看護師にどのよ

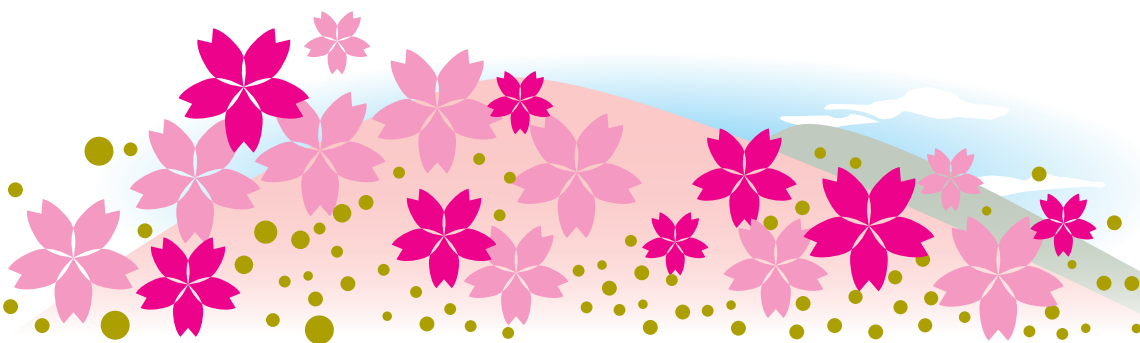
うなことを学んでほしいか、どのような看護師になってもらいたいかを考えながらの講義案作成は、自分自身のこれまでの看護を問われているようで、自分たちにとっても学びの多いものでした。



研修中はグループメンバーと宿泊施設も同じで、他病院の方たちと親交を深め、様々な情報交換を行うことができました。

今後、重症心身障がい児(者)の障がいの程度はさらに重症化していき、とりまく環境は複雑になっていくことが予想されます。重症心身障がい児(者)病床を多く持つ機構は、その看護の質の向上のために期待される役割は大きいものがあります。今回作成した現任教育講義案が、重症心身障がい全体の看護の質の向上に役立ち、将来的には認定看護師制度に重症心身障がい児(者)看護という分野ができることを期待したいと思います。

(C1病棟副看護師長 土幸 伸子)



看護師さんを募集しています!

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り ②非常勤職員（外来、B型通園、病棟）

経験の少ない方、育児等でブランクのある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか？相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@szec.hosp.go.jp

C2病棟 節分

看護師 村瀬 貴宏

節分といえば「鬼はそと」「福はうち」ですね。そう、豆まき！皆さんも子どもの頃からよく慣れ親しんでいる年中行事のひとつです。ここで簡単に節分ってなに？を少し調べてみました。

節分とは、季節の変わり目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことを指します。春を迎えるということは新年を迎えるにも等しいくらい大切な節目だったため、室町時代のころから節分といえば立春の前日だけをさすようになりました。豆を撒き、撒かれた豆を自分の年齢(数え年)の数だけ食べる。また、自分の年の数よりも1つ多く食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないというならわしもあります。豆は「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。

C2病棟でも2月に節分の豆まきを行いました。ご家族、病棟スタッフ、保育士が参加して、節分にまつわる紙芝居を読んだあとに一緒に「鬼はそと」「福はうち」の掛け声とともに豆を撒きました。一生懸命に何度も豆を投げる方。鬼を退治できた方はできない方を応援する姿も見られました。お父さん、お母さんに手を添えられて投げる方もいました。みんなで頑張って鬼を病棟から追い出しました。鬼退治の豆を撒いた後は、撒いた豆を数えて食べました。歳(豆の数)に驚いたり、来年も元気に豆まきしたいと談笑したりと、和やかな時間が過ぎていきました。最後には「豆まき」の歌を大きな声でみんな一緒に歌いました。願いはひとつ、一年の無病息災。

皆様方の節分は如何でしたか？「鬼はそとー、福はうちー」一年の無病息災をお祈り申し上げます。

「第47回 静岡リハビリテーション懇話会」より

ーチーム医療についてー

人と人との出会いで成り立っている医療の場は、コミュニケーションがとても大切です。患者様とはもちろんのこと、その患者様に関わる多職種間でのコミュニケーションを密にして、チーム医療として、最善の支援を目指していきます。

そのチーム医療と関連して、「第47回 静岡リハビリテーション懇話会」という、リハビリテーションに関わりをもつ多職種(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士から、社会福祉士、介護福祉士、施設職員など、幅広い職種)間における、交流と相互理解を目的とした会が、平成24年2月8日に市内で開催されました。当院のリハビリテーション科から、私と作業療法士の長田が、演題発表を行ないました。

演題発表の内容は、「食事動作の向上を目的に、前傾座位姿勢と



自発的な把持動作への介入を行った、重症心身障害児の一症例」と、「視空間認知課題に対して口頭指示の教示内容を変化させることで効果がみられた一例」です。発表後には、多施設の方との意見交換が活発に行なわれました。また、当院リハビリテーション科の職員も応援に駆けつけてくれました。

今回、一人ひとりの患者様を取り巻く、多職種間における、積極的なコミュニケーションが大切であることを改めて実感しました。今後もチームワークを大切に、患者様に満足して頂けるよう、努めていきます。(作業療法士 小野田 愛美)

第29回てんかん専門職セミナー報告

平成24年2月17日(金)に当センターで第29回てんかん専門職セミナーが開催されました。毎年この時期に「成人のてんかん」をテーマとして、医療・介護・福祉・教育の各分野の専門職(看護師・介護福祉士・介護支援員・生活支援員・精神保健福祉士・児童指導員・職業指導員等)の方々を対象に行われています。今年の内容は 1.「てんかんと精神医学的問題」 2.「てんかんを持つ人の日常生活」

3.「成人てんかん患者さんの行動特性」の以上講義3題と施設見学でした。例年のように主に県内



広域の施設から、遠くは神奈川県からも受講希望があり53名が参加されました。

講義は当センター医師、看護師、理学療法室等のご協力で行われ、参加者の皆様



は熱心に聴講されて、活発な質疑応答が交わされ充実した一日となりました。講義終了後、希望者による院内施設見学では、病棟、中央脳波室、理学療法室を回りました。実際の診療の現場での説明に傾聴されていました。このセミナーをお世話したスタッフの一員として、「てんかん」という疾患がより多くの人々に正しく理解されて、その診断・治療・生活支援のために当センターが利用されることを期待します。ここに、ご協力頂いた職員の皆様に感謝いたします。(薬剤科 河合 眞弘)

アレビアチン注射液の欠点を改善した ホストイン静注750mg

ホストイン静注750mgが、2011年11月25日に発売されたので紹介します。

アレビアチン注射液は、てんかん重積状態の治療や脳外科手術後の発作予防に重要な薬です。しかし、フェニトインの水に溶けにくい性質から、水酸化ナトリウムと結合させて水に溶けやすくしてあります。そのため、pH約12、浸透圧比約29となり、強いアルカリ性を示すため、刺激が強く注射部位で疼痛や血管炎を起こすことが知られています。また、血管が細い小児や高齢者に注射する際には血管外にもれる危険性があり、時には重篤な血管壊死を起こすことも知られています。

ホストイン静注は、アレビアチン注射液の欠点を改善した水溶性プロドラッグです。プロドラッグとは、体内あるいは目標部位に到達して

から薬理活性をもつ化合物に変換され、薬理効果を発揮するように作られた薬のことです。

ホストインは、生体内でアルカリホスファターゼにより活性代謝物(フェニトイン)に加水分解されます。ホストイン静注を注射用水等で溶解した場合、pH 8.5~9.1、浸透圧比約1.9の溶液になり、刺激が少ないことで、血管炎や疼痛等を回避することができます。

ホストイン静注の適応は、2歳以上の小児から成人までで、①てんかん重積状態、②脳外科手術又は意識障害(頭部外傷等)時のてんかん発作の発現抑制、③フェニトインを経口投与しているてんかん患者さんにおける一時的な代替療法、に使用できます。

何かご不明な点がありましたら、薬剤科へお気軽に質問してください。(薬剤科 後藤 一純)

てんかん外来再診の診療体制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室	中村		白井桂	山崎	白井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今井		井上		松田
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺田	寺田
第6診察室	芳村	山崎		芳村	馬場好
第7診察室		小出			高山
第8診察室		西田	高橋		
第9診察室	重松			大谷	大谷

神経内科

	月	火	水	木	金
第10診察室	杉浦	小尾		※1山崎	小尾
第11診察室	溝口	八木	溝口		荒木/※2馬場国

※1午後のみ ※2第1、3週のみ

特殊外来

転倒予防外来	随時	溝口、小尾
物忘れ外来	随時	溝口、小尾
遺伝相談	適宜	高橋、溝口、小尾
禁煙外来	随時	池田仁

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00 ~ 12:30 ● 13:30 ~ 17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。

上記、医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人■

溝口 功一	寺田 清人	藤井 千穂子
舛田 俊一	家田 直幸	仲野 久美子
児玉 和久	中神 基充	龍口 直美
山本 恵	長田 英喜	

発行 ■ 平成 24 年 4 月 30 日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆ 診察は予約制になっています ◆

1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

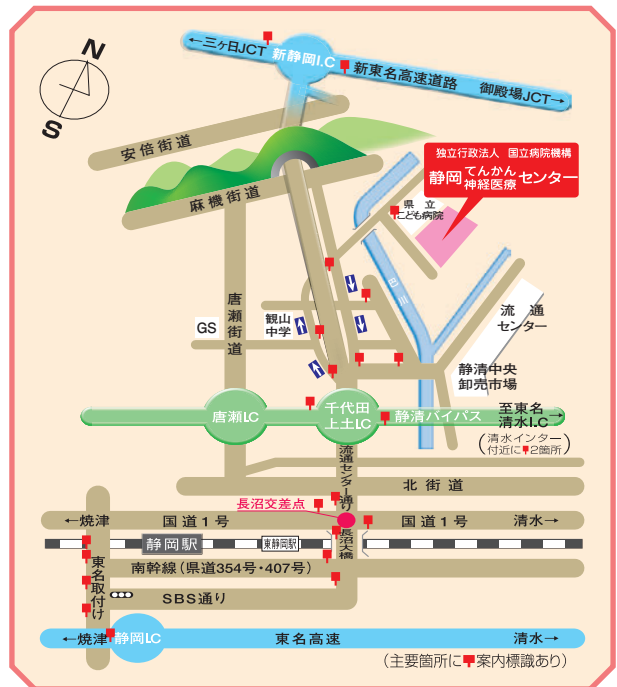
4 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

当院へのアクセス

access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人350円、小児180円。
	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,200円程度。
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約20分。
	● 御殿場JCTで新東名高速へ乗換。新東名高速新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約30分。
	● 三ヶ日JCTで新東名高速へ乗換。新東名高速新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



BOOK

● アトラス てんかんの発作間欠時・発作時脳波を読む【診断と治療社、2007年】

てんかん症候群におけるあらゆる病態の脳波記録を網羅的に掲載し、それぞれについて詳細でわかりやすい脳波判読のしかたを解説しています。

● てんかん症候群：乳幼時・小児・青年期のてんかん学【中山書店、2007年】

世界で愛読されているてんかんの教科書です。典型的な発作DVDが付属しています。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)